

第9回 福知山市農村女性協議会 18名参加

平成30年2月7日 9:30~10:35 於:市民交流プラザふくちやま4-1会議室

主な話し合いの内容

今回は、団体からの要請により市の財政状況について市長より説明した後、意見交換を行なった。

(★=団体、◎=市長)

★市制施行80年という節目の年を迎えたが、新聞報道などで経常収支比率が96.8%と福知山市の財政状況が非常に厳しいと伝えられた。子や孫のことを思うと将来のことが心配である。今日は市の財政状況について市長よりまずお話しをしていただきたい。



◎福知山市の市域面積は、北近畿では豊岡市に次いで2番目、府内では京都市、南丹市に次いで3番目と広い面積を有している。合計特殊出生率は1.96と全国的に見ても高水準であり、北部他市町より人口減少率は緩やかではあるが、人口は平成19年度から約4,000人減少している。そのことを前提に話しを聞いていただけたらと思う。

◎平成28年度の福知山市の決算は、歳入約423億、歳出約411億である。歳入は市税や地方消費税交付金などいわゆる市が自分で稼ぐお金「自主財

源」と国や府などからもらう補助金や、一定のルールに従ってする借金などの「依存財源」がある。当然自分で稼げる額が多いに越したことはないが、自主財源比率は38.4%、舞鶴市の43.9%、人口規模がほぼ同じ長岡京市の56.2%と比較すると後にも述べる市町村合併の効果もあるが低い水準となっている。

◎歳出には社会保障などの扶助費、人件費、借金返しの公債費と経常的に支出が必要な「義務的経費」と治水対策や学校整備など市がやっていきたいことに使うお金の「投資的経費」がある。

◎「経常収支比率」は、義務的経費を自主財源と一般交付税の合計で割ったパーセンテージである。100を超えると基礎自治体としてやりたいことが何もできなくなる。福知山市は「基金」という市の貯金を取り崩しての数値であるが、平成28年で96.8%であった。

◎ただし、本市は市町合併により10年間は国からボーナスをもらっている。このボーナス額を分母から差し引くと101となり100を超過し、何もせず暮らしているだけで貯金を取り崩していかなければならない状態となる。

◎合併10年を経過し、国からのボーナスも段階的に下がっていく。また市町合併したことにより7割は国が返してくれる特別な起債(=借金)ができたが、ここ市民交流プラザの建設をはじめ、ほぼ限度額一杯使ってしまった。有利とはいえ借金は返済しなければならない。

◎この現状を踏まえ、現在、予算編成作業中であるが、市税や、国の交付金など増加が中々難しい状況の中、どうしても支出を抑制していかなければならない状況である。市民の皆様には「今まで出来ていたのになぜ？」と思われることもあるかもしれないが、持続可能な自治体運営のため御理解、御協力いただきたい。

★篠山市では「丹波篠山市」にして欲しいということで1億円の寄付があったという新聞報道もあった。「丹波」は東京でも通用する魅力的なブランドであると思う。農作物についていかにお考えか。

◎農林業センサスで府内他市と比較すると、福知山市の農業費決算額は約17億円とトップである。農業算出額も京都市に次いで2位であるが、過半数は畜産であり、その大半は鶏卵が占めている。福知山市の農業に畜産イメージは無いかと思うが、他市と比較して予算をほとんど投入していない畜産が多いということは御理解いただきたい。

◎先日、福知山市出身で東京で高級料理店をされているシェフの方と話しをする機会があったが、鮎はずっと由良川漁協から買っておられるなど、福知山には沢山いいものがあると思う。そのシェフの方とも何か連携しながら市外でも福知山をPRしていきたいと考えている。

★合計特殊出生率が高いとのことであるが、女性が安心して子どもを産み育てる環境をつくるための政策決定の場に女性がまだまだ少ないと思う。市議会など一定数を女性が占めることを定めるクォーター制の導入が一番早い解決方法かと考えるがどのように考えられるか？

◎市議会のクォーター制導入については、私の立場で申し上げることではないと考えている。

政治の場も含め女性の社会進出は必要なことであるのはいうまでもない。市でも男女共同参画推進条例の基本理念に基づく「はばたきプラン」を策定し、2020年までに審議会等への女性比率を30%（現状24.6%）、市役所の係長級以上の女性職員比率を33%（現状30.6%（28%の当初目標達成のため目標値上方修正））と定め取り組んでいる。

★市民交流プラザ駐車場を年末年始など交流プラザが休みのときでも使えるようにして欲しい。

◎担当部署と何らかの方法がないか検討するが、防犯、安全の観点上実現は難しい。

★閉校になった学校施設について一部利用できないか。以前からお願いし、高齢者が集えたり配食サービスがしたいと考えているが、返事を待つ間に当方が後期高齢者になってしまった。財政厳しいと先ほどもお聞きしたが、売却も含め有効活用して欲しい。

◎公共施設マネジメント計画を策定し、売却も含めた有効活用については取り組んでいきたいと考えているが、施設を除去する費用の方が土地の売却価格よりはるかに高くなることも多く中々難しい現状である。三岳山の家と医師会館は、民間の方からも幅広い意見を聞くサウンディング型市場調査方式を採用した。地域の意見、民間の意見を広くお聞きして利活用に努めていきたい。

